

SNSをきっかけとした消費者トラブル

【事例1】「稼げる」というSNS広告を見て...

「定型文を送信するだけで月に100万円から200万円稼げる」というSNSの広告を見て副業サイトにアクセスし情報商材を購入した。するとサポートプランを勧誘され、合計15万円を銀行口座に振り込んだ。
(20歳代 男性)



PIO-NETにみるSNS関連の相談件数



※2021年9月30日までのPIO-NET登録分。
2020年度の同期件数（2020年9月30日までの登録分）は18,557件。

【事例2】SNSで知り合った相手から誘われて...

SNSで知り合った相手とやり取りをしていたところ、「別のサイトでやり取りをしよう」と言われて出会い系サイトに誘引された。するとサイトから「専用のチャット内に入る必要がある」と言われて費用を請求された。その後も「やり取りをするにはお金が必要」と言われて、合計約16万円を支払った。



(20歳代 女性)

👉 トラブルに遭わないためのポイント

- SNS上の広告は**しっかり内容を確認**しましょう
- SNS上で知り合った相手が本当に**信用できるか慎重に判断**しましょう
- 身分証明書の送付や個人情報の**書き込みを安易にしない**ようにしましょう
- 中高生のトラブルも発生しています。家族で**SNSの利用方法**を話し合きましょう